

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140-9-145275
本 紙 を 購 読 ご 希 望 の 方 は 、 前 金 を
そ へ て 、 お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い 。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す 。

発 行 所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話
03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発 行 人 内 藤 留 幸
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志



「召命」を強調する小堀康彦委員長の挨拶

春季教師検定試験

近年になく少ない不合格者

召命に込められた重さを十分に受け止め

二〇〇八年の春季教師検定試験は、二月二六日（火）～二八日（木）、東京会場（早稲田の日本キリスト教会館）で、四階の教団会議室と六階の会議室（貸室）で行なわれた。一日目は学科試験、二日目、三日目に個人面接を行なった。原則として二日目の個人面接は遠方からの受験者、三日目の個人面接は東京近郊の受験者とし、受験者の負担軽減を図った。

二日目・三日目それぞれ個人面接に先立ち、全体会を行なった。開会祈禱後、検定委員の自己紹介があり、続いて小堀委員長からの挨拶が述べられた。小堀委員長は「第35総会期教師検定委員会方針に沿って、

「主の召命に込めて日本基督教団の宣教を担い、主の教会に仕える教師を送り出すために、教憲教規に基づき、教師検定規則に則って行う試験であることを、確認の意味で述べた。その上で、教憲第九条に「本教団の教師は、神に召され正規の手續を経て献身した者とする」とあることを指摘し、その意味について説明した。何よりも神の召命にお応えすることの重さを十分に受け止めること、また今後の伝道献身者としての心備えについても言葉を添えた。

今回の受験者総数は八〇名で、内訳は補教師六七名（Aコース三七名、Bコース十四名、Cコース十六名）、正教師十三名であった。試験直後の二九日（金）に行なわれた第35総会期第五回教師検定委員会での学科試験の判定によると、補教師試験受験者六七名の内、合格者四二名、保留者九名、継続者（Cコース）十四名で、不合格者は二名であった。正教師試験では、受験者十三名の内、合格者五名、保留者四名で、不合格者四名であった。保留者は、学科試験の得点が合格点に少し足りなかった受験者で、改めてレポートが課せられ、後日提出されたレポートによって再判定を受ける者のことである。

今回、補教師試験の不合格者は少ないが、保留者は依然として多かったことは残念なことであった。しかし、今回は、教憲教規・宗教法人法の受験準備が良く行われていたと思われる。近年になく、不合格者が少なかった。今後、この調子を持続して欲しいと願われる。しかしながら、新約聖書神学・旧約聖書神学については、これまで同様、神学的な論述になっていないものが目立った。また、正教師試験は、秋季試験の再試験となるものであるが、その結果は大変残念なものであった。教会・伝道所に仕えながらの準備勉強ではあるが、科目が少ないのであるから、十分な準備をして試験に臨んで欲しいと思われた。

教師検定委員会は、毎回提出物の課題・学科試験の問題において、いつも基本的な理解を問い、また学ぶ姿勢を問うものを出题してきた。教師として宣教の場に遣わされ、み言葉を宣べ伝えていく上で、聖書の基本的な知識や理解と神学的思考は欠かせない。ただ、試験のための勉強ではなく、日常的に聖書的・神学的な学びを継続して欲しいと願っている。そして、それは伝道者として永く働くために、力として蓄えられることだからである。

試験直後の委員会において、幾つかの課題が指摘された。話し合われた。その最も大きなものは、神学校・神学部の実態が、教師検定規則で前提とされていることと乖離していると考えられる点である。このことについては、教師検定試験制度の見直しという大きな課題となる。今後早急に検討し、改善する必要があることを、委員会の共通認識とした。

今回利き手を怪我した受験者があったが、教団所有のパソコンを使って、別室受験により対応することができた。これまでも、色々なケースがあったが、委員会としては、受験に疑義が生じない工夫を最大限に講じながら対処してきている。今回、八〇名の受験者が与えられたことを、主に感謝する。今後も、日本と世界の福音伝道のために、良き働き人が立てられるよう願うものである。多くの献身者が起こされ、それぞれ良い準備をして、試験に臨んで頂きたいと、願う。

（倉橋康夫報）

講 評 二〇〇八年春季教師検定試験



十分な準備があるかが問われる

2008 年春季・補教師検定試験問題

教憲教規および諸規則・宗教法人法（60 分）

（A・B・CⅢコース）

次の 2 題に答えてください。

- 次の（ ）に正しい言葉を書き入れてください。
 - 教会担任教師の招聘は、（a）の議決を経て、教区総会議長に申請し、その承認を受けなければならない。
 - 教会の会計年度は、毎年（b）に始まり翌年（c）に終る。
 - 年齢（d）の者は役員に選ばれることができない。
 - 教会総会の定足数は教会規則において定める。ただし、現住陪餐会員総数の（e）を下ってはならない。
 - 教会の役員（f）の要求があったときは、臨時に教会総会を招集することができる。
 - やむを得ない事由により教会の基本財産を処分する場合は、教会総会において出席者（g）以上の同意と責任役員の同意を得、教区総会議長の承認を受けなければならない。
 - 教会担任教師が病気その他の事由で（h）以上その職務を行なうことができないとき、本人または役員会はその旨を教区総会議長に届け出なければならない。
 - 議員（i）以上の賛成のあるとき、教区総会に議案を提出することができる。
 - 建議とは、教団の教務または行為について、（j）をするものである。
- 「宗教法人法」に基づき、宗教法人を管理する上で、制度上重要な点（条文の列記ではなく）を述べてください。併せて、宗教法人格を持つ教会が備えなければならない書類・帳簿について記してください。

旧約聖書神学（60 分）（B・CⅢコース）

次の 3 題のうちから 2 題を選んで答えてください。

- 旧約聖書における「贖い」について、述べてください。
- 旧約聖書における「神の像」について、述べてください。
- 旧約聖書における「信仰」について、述べてください。

新約聖書神学（60 分）（B・CⅢコース）

次の 3 題のうちから 2 題を選んで答えてください。

- ヨハネによる福音書における「聖霊」について、述べてください。
- 共観福音書におけるイエスの受難と死について、述べてください。
- パウロ書簡における教会理解について、述べてください。

真剣にそして謙遜に、学びを続けていただきたいのです。それは、福音を宣べ伝え、教会を建てていく業に仕えるために、どうしても必要なことだからです。

（小堀康彦委員長）



熱心に発題に聞き入る、胸中よぎるものは

07年度宣教方策会議

課題が深く掘り下げられ、幻が高く掲げられ

日本基督教団の伝道・その協力のため

二〇〇七年度宣教方策会議が、三月十一日、富士見町教会を会場に開催された。「日本基督教団の伝道・その協力のために」の主題、「プロテスタント伝道開始一五〇年をふまえて」の副題のもとに、参加者七二名により、発題、各教区報告、協議がなされ、また礼拝が捧げられた。課題が深く掘り下げられ、幻が高く掲げられ、有意義な学びと同労の良き交わりの時が与えられた。

歴史・法・開拓伝道から教団に迫

教団の歴史をふまえて

最初に発題者として立った内藤留幸総幹事は、日本伝道史を五〇年ごとの三期に分け、それぞれの時代を象徴するような特徴的出来事を上げて、概観した。

高橋潤宣教委員長は、「宣教方策のない宣教方策会議はあり得るのかという問」があるが、「全教区の代表者が集まって出合い、議論することなくして前進はないという意見で一致し」、「各教区、諸教会が取り組んでいる現状への相互理解と共に、歴史的な経緯に学びつつ、将来への展望を与えられたいと願っています」と主催者挨拶を述べた。

朴寿吉在日大韓基督教会総幹事は、「方策が豊作になるように祈願する」などユニモアたっぷり来賓挨拶を述べた。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

第一期最後の項目は「開教50年祝賀会にみられる特徴」。首相、東京府知事から祝賀挨拶があったという、今日では批判的に見られがちな事をも、教会が市民権を得るために努めた揺籃期の象徴的出来事として歴史の意味で評価した。

第二期でも、「比較的自由な雰囲気や伝道が進展したもの」の、「後半、軍部の台頭によって」戦争の時代に突入し教会もこの影響を免れ得なかった事実を認めながらも、「守るべき

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

内田汎牧師（富里）

山口隆康牧師（東神大）

内藤留幸牧師（総幹事）

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

第三期については、重大な決議がなされた教団総会等について、そこに居合わせた自らの体験談を交えて、生き生きと描写し、その出来事の意味を、これも、公会教会の形成という観点から洞察した。

第16回総会以降、最近に起こった出来事については、内藤氏の歴史観と教会論に照らして、批判的に語られたが、その果てにある希望に言及がなされて、発題は終わった。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

宣教方策を授けられるべく

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

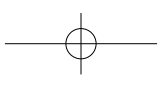
「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。



話題は、地方と都会、信仰の継承、牧師の生涯学習～

「歴史は雑多で無目的な出来事の積み重ねに過ぎない。『ツヴァイク』のかも知れない、内藤氏はしかしここに「公会教会の形成」という一筋の光を当て、この光のもとに、日本基督教団に起こった雑多とも見える出来事を貫いて働く、神の御旨を探り、説得力豊かにそれを描き出した。



幻をもって厳しい現実に向き合う

奥羽教区・東海教区・東中国教区

奥羽教区報告

三つの教区の報告が行われ、最初に、邑原宗男教区議長が奥羽教区の報告を行った。膨大・詳細な資料が提示されたが、「大切な所だけ抜き出して」と断り、伝道の歴史とそこで働いた信徒教職が抱えた問題に焦点を当て、詳しく説明がなされた。

東海教区報告

東海教区の報告には西之園路子常置委員が当たった。まず、伝道委員長を含めた四役制度、伝道部のもとに婦人・青年・農伝の三専門委員会が置かれる東海独自の組織体制が紹介された。

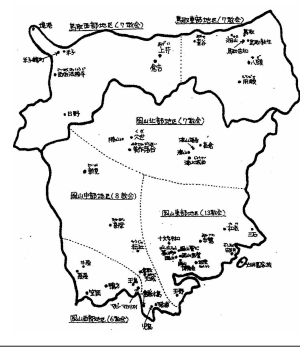
東中国教区報告

最後に「今後の課題」として、「謝儀互助制度の全面的見直しを検討されている」ことが紹介され、このことが「教区として伝道をどう考えていくか」という問題と深く結び付いている」と説明がなされた。

宮川経宣教区副議長が演



報告に当たる西之園路子東海教区常置委員



この方針がどこから生まれ何を課題としているのかを考えた上で説得力豊かな発表であった。

この方針がどこから生まれ何を課題としているのかを考えた上で説得力豊かな発表であった。

壇に立った時には、全体に時間が押し、二〇分の筆の持ち時間は半分となっていた。この限られた時間ひたひたに、しかもジョークを交えて、東中国教区の報告はなされた。

最初のジョークの部分、添付資料の教区地図が人間の横顔を連想させる。「顔の見える関係」が東中国教

区のキーワードであり、そのことを地図が雄弁に語っている。五〇教会の小教区にも拘わらず地域間格差は激しい。高齢化が著しい地域で、ことは深刻になっている。「教区の現状報告」の③では、会計に於ける「教

師謝儀の比率が75%以上の教会が多くある」と指摘され、「教会強化特別資金の充実」など教区独自の取り組みが紹介された。

資料の「最後に」の項目にも、「伝道園伝道という概

「神の国」宣教を今後の課題とすべし

第35総会期第三回靖国・天皇制問題小委員会が、二〇〇八年二月二十五日(月)二十六日(火)、日本キリスト教会館六階会議室で開催された。沼田和也委員による開会礼拝の後、議事日程が承認され、報告・協議が行われた。

事務局からは、2・11集会について報告を受け、全国で実施された集会的様子等について情報交換がなされた。

社会委員会報告では、西之園路子委員より、二月六日(木)七日(金)に開催された社会委員会で聖隷事業団を訪問したこと等の報告を受けた。

NCC報告では、須賀誠二委員より、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」諸問題に関するQ&Aを作成中であること、首相の伊勢神宮参拝に対する抗議文を出したこと等について報告を受けた。

今回の委員会二日目は、古屋英雄氏(聖学院大学大学院教授)を講師に迎え、

「国家と教会」戦争をめぐる、を主題に講演が行われた。古屋氏は、第二次世界大戦終了後、日本は非キリスト教国でありながら、戦後の憲法(第九条等)において、最もキリスト教らしい「平和憲法」を持っている(この憲法は日本のみならず世界の宝である)とし、ここに神の「意志(御心)」が在ると語り、「神の国」宣教をこれからの課題とすべきであると述べた。講演要旨は、「社会委

員会通信四四号」に掲載予定。

今後の委員会だが、六月九日・一〇日に開催される第四回委員会では「沖繩から見た天皇制」をテーマに、芳澤信委員が発題する。各委員は、「二七度線の南から」(日本基督教団出版局)と「戦災場と廃墟の中から」(沖繩教区)を各自入手し、事前に学ぶこととした。また、第四回委員会の中で、教団総会に向けての委員会報告ならびに評価と展望について協議する。

第五回委員会は九月十一日・十二日に開催。一日目に堀内隆氏(長野県短期大学名誉教授、日本聖書神学校講師)を講師に招き、靖国神社の歴史について講演いただく。また二日目は須賀委員の案内で、靖国神社にて現場研修を行う予定で

上げる。

不当な教師退任勧告を受けて

北村 慈郎



洗礼を受けていない者にも開かれた聖餐(以下開かれた聖餐)を執行しているという中で、私は山北議長

の提案によって常議員会から教師退任勧告を受けた。しかしこの私への教師退任勧告は明らかに不当である。まず私のような開かれた聖餐を執行している教

師は、礼拝出席者が少なく、さまざまながらみで洗礼は受けられないが礼拝には毎週出席している方を排除できないという理由で、数は少ないが教団の成立時からいたと思われる。

一九六〇年代後半からは、いわゆる最後の晩餐の記事だけではなく、五〇〇〇人の共食、被差別者とのイエスの食事などにも聖餐との関わりがあるという聖書

の知見や神・世界・教会というミッシオ・ティに

課題が具体的に提示されて

いるのであるから、今後相互批判による対話を深めていく必要がある」と言っ

て、今後の課題として以下の問題を挙げている。①サ

クラメントとは何かの問題。②未受洗者陪餐の問題。③礼典執行に絡む二重教職

制の問題。④聖礼典に介在する国家権力の問題(「救世

団」合同加入時の問題を踏まえて、今日の課題として

考える。⑤式文改訂問題である。

ここに挙げられている五つの問題は、少なくとも聖餐に関わる教団教会の本質的な問題である。私たち教団に所属する教会、信徒、

念を教区全体が共有し、「この地域の伝道は、この教会が、この教師が、そしてこの信徒が担っているのだ」ということを互いが理解しあ

う「顔の見える関係づく」を何より大切にしたい」と、報告は結ばれた。

「互いに学び協力しあう関係により、小規模教会、地方教区と呼ばれながらも、合同教会の豊かさを実感できるものと思われ」と、報告は結ばれた。

「国家と教会」戦争をめぐる、を主題に講演が行われた。古屋氏は、第二次世界大戦終了後、日本は非キリスト教国でありながら、戦後の憲法(第九条等)において、最もキリスト教らしい「平和憲法」を持っている(この憲法は日本のみならず世界の宝である)とし、ここに神の「意志(御心)」が在ると語り、「神の国」宣教をこれからの課題とすべきであると述べた。講演要旨は、「社会委

員会通信四四号」に掲載予定。

今後の委員会だが、六月九日・一〇日に開催される第四回委員会では「沖繩から見た天皇制」をテーマに、芳澤信委員が発題する。各委員は、「二七度線の南から」(日本基督教団出版局)と「戦災場と廃墟の中から」(沖繩教区)を各自入手し、事前に学ぶこととした。また、第四回委員会の中で、教団総会に向けての委員会報告ならびに評価と展望について協議する。

第五回委員会は九月十一日・十二日に開催。一日目に堀内隆氏(長野県短期大学名誉教授、日本聖書神学校講師)を講師に招き、靖国神社の歴史について講演いただく。また二日目は須賀委員の案内で、靖国神社にて現場研修を行う予定で

上げる。

年鑑を購入された書店、もしくは教団事務局総務部年鑑係(☎03-3202-0541)に直接お申し出ください。

事務局報

教師異動

就(担)岡本拓也
久万 辞(代)野村忠規
就(主)堀川賢二
愛知 解任(担)八郎
センター廃止
日本堤伝道所センター
伝道所廃止
九十九里みぎわ
DCE改姓
服部ばら↓吉新ばら
教師改姓・改名
高 鏞熙↓高 和熙

消息

小玉洋之助氏(無任所教師) 一月五日逝去。七九歳。兵庫県に生まれる。一九五七年同志社大学大学院修了後、日向福島教会に赴任。その後天草平安教会牧師を務め、七八年から八四年まで明石愛老園教務教師を務めた。遺族は妻の裕子さん。

お知らせ

☆日本基督教団年鑑二〇〇八年版の追録を発行いたしました

教団年鑑二〇〇八年版におきまして、ミスが多少あったことについてお詫び申し上げます。

そこで、当年鑑の正誤表を内容とする追録を、年鑑をご購入された方々に差し上げます。

年鑑を購入された書店、もしくは教団事務局総務部年鑑係(☎03-3202-0541)に直接お申し出ください。

牧師のパートナー

独身時代のある日、いつものように青年会の集いが夜遅く終わって、玄関で牧師夫人にさようならのあいさつをしました。私たちは外へ、牧師夫人は扉を閉めて中へ入られました。それを見て、「まだ教会に残る人がいる」と思ったのが始まりだったかもしれせん。

小さい頃から身近にすぎない牧師夫人を見てあげられて、単純に牧師の妻となりました。でも、この立場になってみたら、お仕事は山のようにありました。

まずは「料理」。祈祷会の前に、夕礼拝の前に、食事を作る。小さな子どもがいる中でカレーライスばかり作っていました。料理は苦手なのに。

そして「お茶」。一杯のお茶さえろくにいられないので、この年まできて、複数のお客様にキチンとお出しすることができません。

その他、「掃除、戸締まり、火の用心、近所付き合い」などなど、私の苦手なことがかりしなければなら

ならないのです。

ここまでは、普通の主婦のする範囲ですが、教会には色々な方が訪ねてこられます。この対応が難題でした。重荷を負った方々に対しては、学びが必要であったのです。自分の狭さを知らされました。そんなに難しいことでなくても、「さあ、これをしよう」と思っている時に容赦なく来る電話や来客に、気持ちの整理をつけることの難しさ。

お金や食事を求める方に対しては、マタイ25章を思いつつやさしく接してみたり、市役所で言われた通りにすげなく断ったり、いす

「教会に住み、牧師の傍らに立つ」とは

木下 晃子
(西千葉教会員)



教会正面玄関前で、木下宣世牧師と

れにしても「よかったのか」と反省ばかり残ります。

また、電話にしるる伝言にしる、連絡も大切です。キチンと正確に伝えなければいけません。夫婦間で意思疎通が悪くて間の悪いこともありますし、秘密にしなければならいこともあります。

訪問、問安、牧会。これも、教会の方々は「牧師夫人に話したイコール牧師は知っている」と思っておられるのですが、その反対も

同じとは限りません。

牧師の妻は、「羊飼いの傍らに立つ羊」であって、一匹の羊であることに変わりはないのだ、と長年たってやっと実感しています。

やっと気付いた頃から、以前ひどかった肩こりがなくなりまして。大きすぎる力づを背負う力タツムリのように感じていたのです。

地区の牧師夫人会の交わりでも励まされてきました。教会の方々にもいつも祈られ、支えられ、赦されてきたことが身に沁みているように思います。

先輩牧師夫人から教えられた「牧師夫人のメリット」をご紹介します。

①礼拝に心おきなく出席できる
②聖書についていつでも聞ける
③困難なことも共に祈れる

堂々と礼拝に出席して、聖書について語り合い共に祈る「究極のキリスト者夫婦」！（ちょっと立派すぎ！）

「わたしたちは神にはありのままに知られています」(第2コリント5・11)とのみ言葉通り、決して立派ではない私たちであります。が、神様がこのありのままの私たちを用いてくださることに驚き、また、感謝しつつ。

西中国教区 部落解放現地研修ツアー



二月四日(月)から五日(火)にかけて、尾道市と福山市を会場に行われた。

一日目、尾道人権文化センターで「尾道市北久保地区の部落解放運動の歴史」について学び、胸に突き刺さるような痛ましい差別の現実と戦った人々の記録がそのままに紹介された。特に「春駒」と呼ばれる伝統行事を受け継いでいく中で、差別の現実と苦しみ、歴史を決して忘れず、反差別の闘いをも受け継いでいく決意をもった若い世代と出会えたことは、大きな喜びであった。「春駒」はいわゆる「門付け」の一種だが、この舞を踊る役目は被差別部落出身の女性たちだった。子どもたちも正月には暗い内から起こされ、夕方まで母親と共に舞を舞ったのだそう。そして、謝礼としてわずかに受け取る米やお金によって生活を支えたという。「春駒」にかり出された記憶をもつ人々にとって、この伝統行事は痛ましい記憶でしかなく

た。しかし、それをあえて復活させることによって、かつての差別の現実を今に伝え、二度と同じ過ちを繰り返さないために、若い世代が今春駒の担い手になっているのだ、という。一人二役で演じられた「春駒」は、もの悲しさを内包しつつ、北久保地区の解放運動を象徴するかのような力強さに満ちていた。

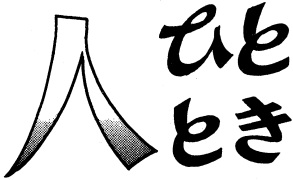
二日目は場所を福山に移し、昨年一〇月に新たにオープンした「ホロコースト記念館」を見学した。詳しくはHP(<http://www.urban.ne.jp/home/region/>)をご覧ください。館長であり、記念館にほど近い場所に立つ聖イエス会尾道教会牧師の大塚信さんより直接記念館開設の経過を伺い、ホロコーストの記憶を後世に伝える展示物に接した。ナチスの中枢にいたわずか十五人の決定によって、ユダヤ人大量虐殺は決定された。多くの人々もその決定を承認した。思慮の求められる場面で愚かな決定を下した結果、歴史は悲惨なものとなった。今日にも響く警鐘を受け止めている。

二日間の研修を通して、新たな気づきを与えられたことに感謝し、参加者一同帰途についた。

(草地大作報)

2008 年教区総会日程

教区	会 期	会 場	問安使
北 海	4 月 29 日(火) 10:00	札幌教会	小林 眞
奥 羽	5 月 20 日(火) 12:30	奥羽キリスト教センターチャペル	鈴木伸治
東 北	5 月 27 日(火) 13:00	仙台青葉荘教会、東北教区センター「エマオ」	鈴木伸治
関 東	5 月 28 日(水) 10:00	大宮ソニックシティ小ホール	鈴木伸治
東 京	5 月 27 日(火) 10:00	東京山手教会	内藤留幸
西東京	5 月 25 日(日) 15:00	阿佐ヶ谷教会	鈴木伸治
神奈川	6 月 21 日(土) 10:00	清水ヶ丘教会	小林 眞
東 海	5 月 27 日(火) 13:30	上山田ホテル	山北宣久
中 部	5 月 20 日(火) 13:00	名古屋中央教会	内藤留幸
京 都	5 月 5 日(月) 9:30	京都丸太町教会	(問安拒否)
大 阪	5 月 5 日(月) 10:00	大阪女学院ホールチャペル	内藤留幸
兵 庫	5 月 18 日(日) 16:00	神戸教会	小林 眞
東中国	5 月 26 日(月) 12:00	岡山教会	山北宣久
西中国	5 月 6 日(火) 13:30	防長苑	小林 眞
四 国	4 月 28 日(月) 13:00	琴参閣	山北宣久
九 州	5 月 6 日(火) 9:30	九州キリスト教会館	山北宣久
沖 縄	5 月 25 日(日) 16:00	沖縄キリスト教センター	(問安拒否)



国府田秀行さん
郁絵さん

生き方を通して



上尾使徒教会員、聖学院大学特任助手・聖学院みどり幼稚園教諭

二人は聖学院大学での聖歌隊活動を通して出会った。秀行さんは大学で初めてキリスト教に触れ、礼拝に出席するようになった。郁絵さんは祖父父母がクリスチャンであり、中学・高等学校とキリスト教学校出身であることもあって、キリスト教に違和感はなくあったという。そして二人がキリスト者としての生き方への憧れを抱くようになったのは、大学で出会ったキリスト者教員の姿を通してであった。さらに郁絵さんが聖学院みどり幼稚園へ就職、二人はそれが大きなきっかけとなり、上尾使徒教会へ通うようになった。そして彼女の方が一足先に、二〇〇二年の宗教改革記念日礼拝にて洗礼へと導かれた。それは自分

分ではどう言えないタイミングであった」という。その後に彼の方もキリスト教主義学校へ就職が決まり、「これで神さまと離れられない関係とされた」と観念し、二〇〇三年のイースターに洗礼へ導かれた。

キリスト教教育に携わる中で、郁絵さんは「子どもたちに信仰のことは本や歌だけで伝えるものではないと思う。子どもたちに関わる自分の姿を通して、神さまを証しし、神さまから愛されている子どもたちの尊さを知りつつ、自分もその一人であることの幸せを伝えていきたい」と語る。また秀行さんは「キリスト教に初めて触れる学

生たちの気持ちがよくわかる。だからキリスト教に対して否定的な感情をもっている学生に対しても受け入れるという姿勢で接すること、クリスチャンである自分の歩みを通して、学生たちに証ししていきたい」と話す。

二人に共通する目標は、恩師たちと同様にキリスト者としての生き方を通して証していく姿勢である。そのことは教会奉仕にも現れている。現在、二人は教会学校で子どもたちに証しつつ、秀行さんは教会役員として、郁絵さんは礼拝奏楽者として仕えている。キリスト教教育に携わるカッパルとして、今後